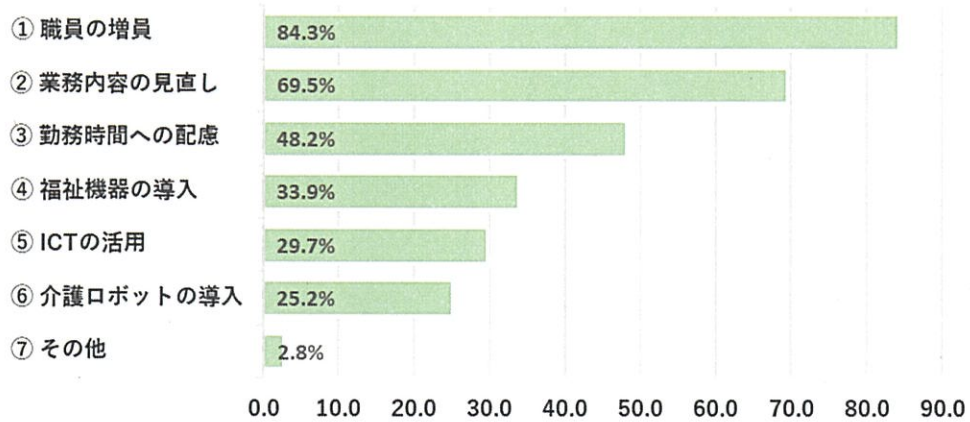


問5(3) 業務負担軽減として期待する取組【複数回答あり】

* 業務負担軽減として期待する取組は、「① 職員の増員」が84.3%と最も多く、次いで「② 業務内容の見直し」が69.5%となっています。

(n=5,539)



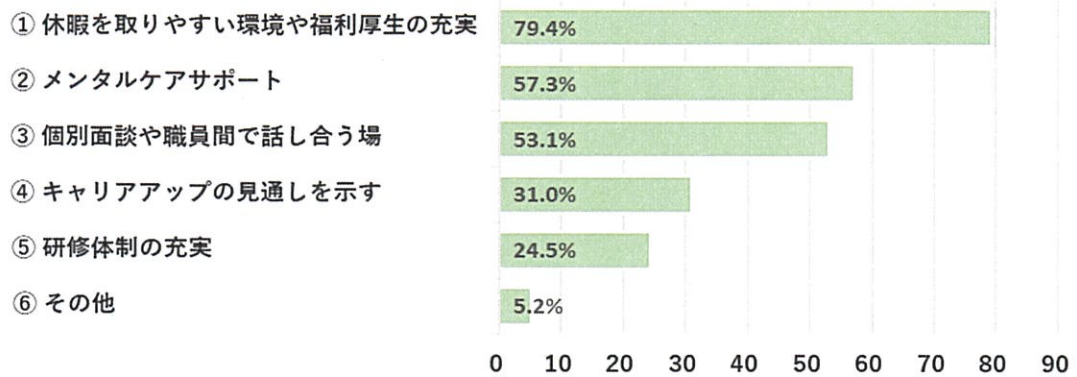
< 「その他」の主な内容 >

1	記録など過度な事務処理。
2	賃金アップ。
3	記録等の簡素化。
4	職員教育の充実。
5	働きやすい環境。
6	職員の質の向上と研修がひつようで、更に研修を行う人材の質の向上も更に必要だと思う。
7	定期的な職員へのケアやサポート。
8	職場の人間関係のストレス緩和に対する対策。
9	賃金、手当の改正、業務の平等化 職員の教育、意識改革。
10	職員の意識改革。

問5(4) 就労継続（早期退職を防止）のために期待する取組【複数回答あり】

* 就労継続（早期退職を防止）のために期待する取組は、「① 休暇を取りやすい環境や福利厚生の充実」が79.4%と最も多く、次いで「② メンタルケアサポート」が57.3%、「③ 個別面談や職員間で話し合う場」が53.1%となっています。

(n=5,539)



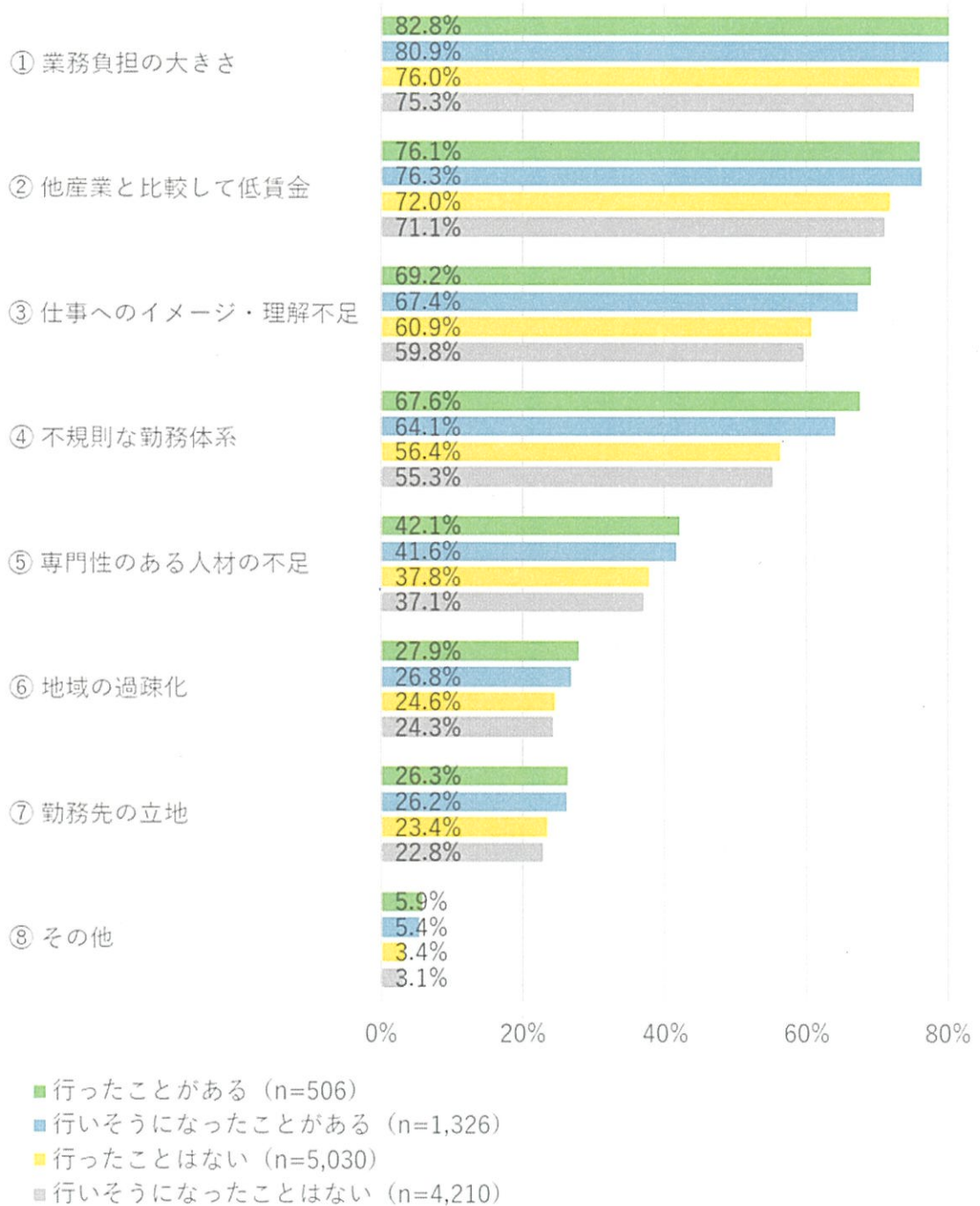
< 「その他」の主な内容 >

1	賃金のアップ。人材の確保。
2	賃金、手当アップ。
3	介護報酬の増額。介護職員の地位向上施策。
4	手厚い職員の配置。
5	技術や知識の向上、情報共有、理解など新人職員、中途採用職員の十分な育成期間。
6	労働環境変化。
7	安定した給与体制。時間外業務の軽減。
8	キャリアアップと同時に給与の見直し。
9	勤務時間の長さ、残業時間の軽減、その為に職員の増員確保。
10	給与の増加、上司や管理者の理解能力向上。

虐待を行いそうになったことがある・行ったことがあると回答した職員の傾向について

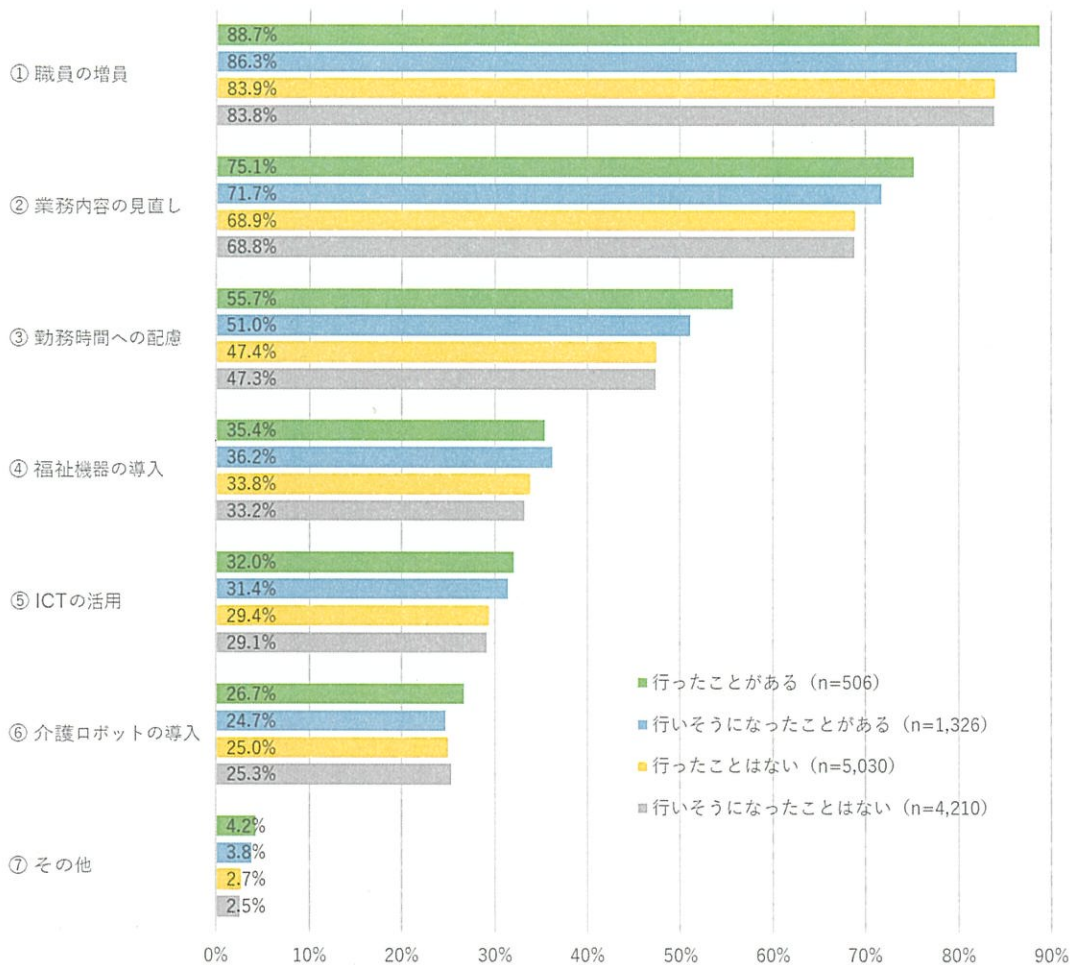
問5(2) 人材確保が困難な要因【複数回答あり】

* 各項目において虐待行為等を行いそうになったことがある・行ったことがあると回答した職員の回答割合が高い傾向にあります。



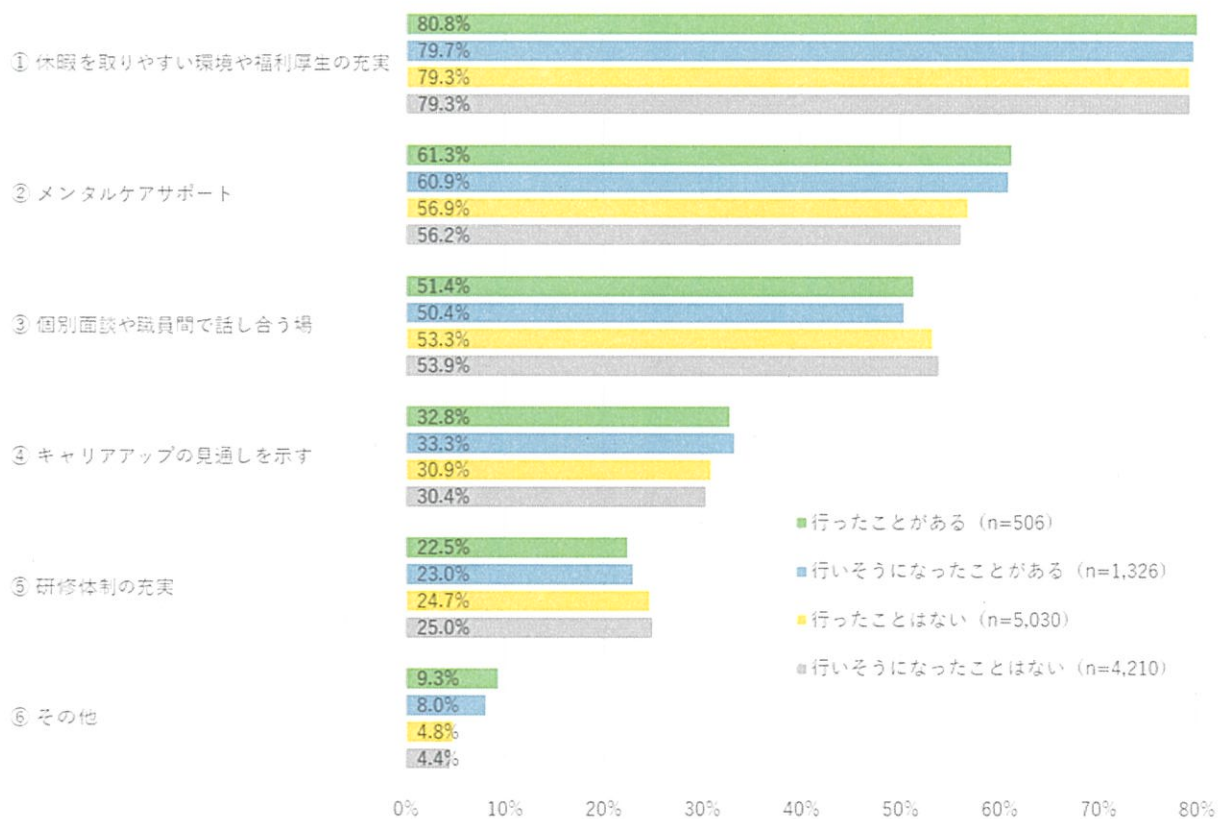
問5(3) 業務負担軽減として期待する取組【複数回答あり】

* 虐待行為等を行いそうになったことがある・行ったことがあると回答した職員では「① 業務内容の見直し」及び「② 職員配置基準の見直し」の回答割合が高い傾向にあります。



問5(4) 就労継続（早期退職防止）のために期待する取組【複数回答あり】

* 虐待行為等を行いそうになったことがある・行ったことがあると回答した職員では「② メンタルケアサポート」の回答割合が高い傾向にあります。

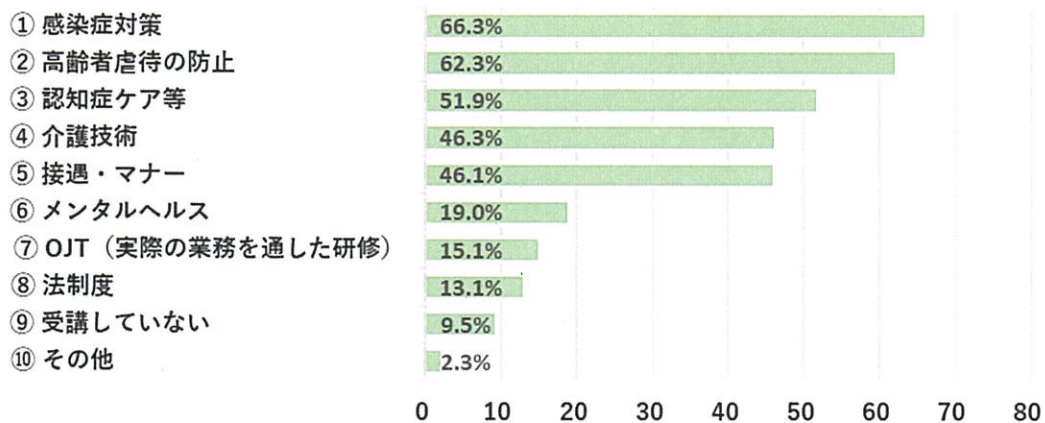


A-⑥ サービスの質の向上

問6(1) 受講した内部研修【複数回答あり】

* 受講した内部研修は、「① 感染症対策」が66.3%と最も多く、次いで「② 高齢者虐待の防止」が62.3%、「③ 認知症ケア等」が51.9%となっています。

(n=5,539)



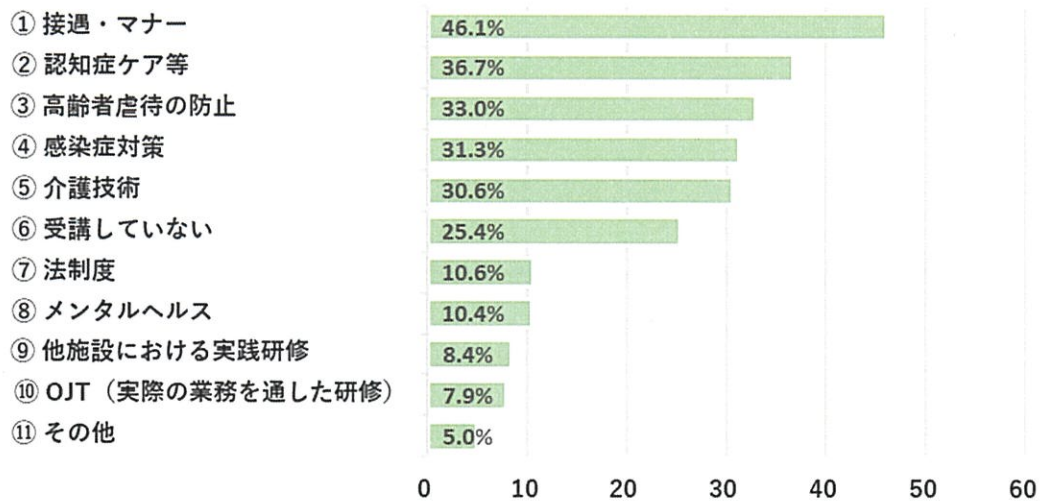
<「その他」の主な内容>

1	事故防止対策。
2	排泄介助。
3	看取り介護。
4	褥瘡対策。移乗介助、リハビリ研修。
5	ハラスメント。
6	褥瘡研修、口腔ケア研修。
7	急変時の対応、身体拘束防止。
8	感染症予防対策。
9	リスクマネジメント。
10	救急救命とAEDの使い方。

問6(2) 受講した外部研修（通信・オンデマンド含む）【複数回答あり】

* 受講した外部研修（オンデマンド等含む）は、「① 接遇・マナー」が46.1%と最も多く、次いで「② 認知症ケア等」が36.7%、「③ 高齢者虐待の防止」が33.0%となっています。

(n=5,539)



< 「その他」の主な内容 >

1	リスクマネジメント管理。中間職における人材育成。
2	ケアマネージャー更新研修。
3	食事、医療。
4	摂食嚥下について。
5	救急救命講習。
6	リーダー研修。
7	褥瘡対策全般の研修。
8	事故防止対策。
9	紙オムツに関する講習。
10	初任者研修、実務者研修。

問6(2) 外部研修を「受講していない理由」の回答

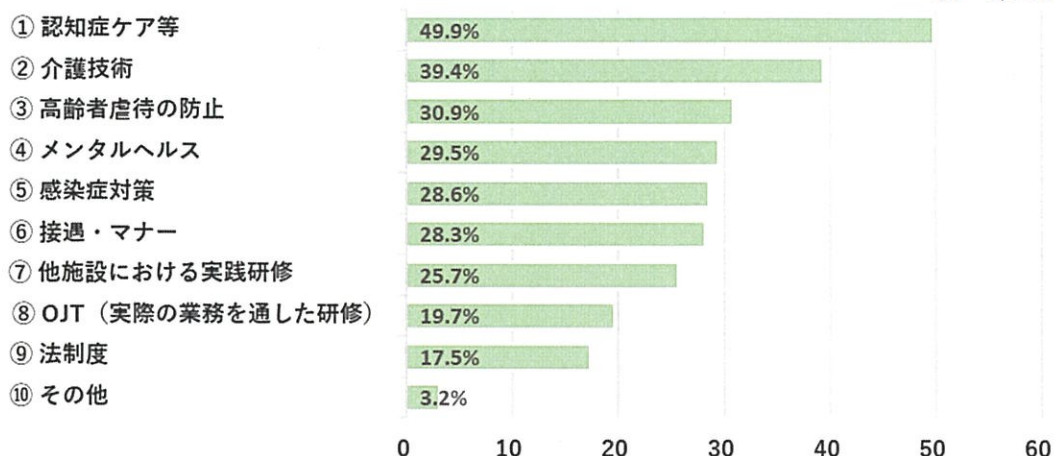
<「その他」の主な内容>

1	コロナ禍でなし。
2	機会がなかった。
3	興味がない。
4	パート職員であり、その機会がない。
5	なかなか外部研修に出せるほどの人員の余裕がない。
6	内部研修を中心に受講してたから。
7	受講の案内が職員全体に周知されていない為。
8	機会も時間もない。
9	研修の指示がありません。
10	日程が合わなかった。

問6(3) 希望する外部研修【複数回答あり】

* 希望する外部研修は、「① 認知症ケア等」が49.9%と最も多く、次いで「② 介護技術」が39.4%、「③ 高齢者虐待の防止」が30.9%となっています。

(n=5,539)



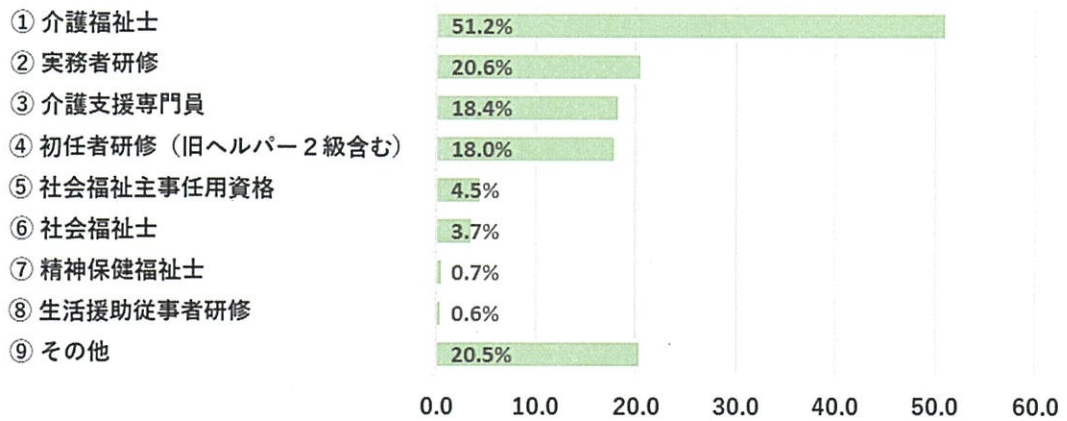
<「その他」の主な内容>

1	統合失調症など認知症以外の精神的ケアやコミュニケーション方法。
2	リスクマネジメント。
3	介護病（腰痛）の予防効果について学びたい。
4	痰・異物の吸引、洗腸施行、救急時の対応など。
5	リーダーとなる人材の育て方、モチベーション維持の方法など。
6	クライアントハラスメントにあった場合の対処法。
7	褥瘡対応、看取り対応。
8	理学療法・作業療法・言語療法の方々から、老人の機能維持等の知識・技術を知りたいです。
9	嚥下能力が落ちてきている方への、食事介助方法や食事介助にまつわるリスク等。
10	福祉用具とその使用方法についての研修。

問6(4) 現在の勤務先で取得した資格等【複数回答あり】

* 現在の勤務先で取得した資格等は、「① 介護福祉士」が51.2%と最も多く、次いで「② 実務者研修」が20.6%となっています。

(n=2,806)



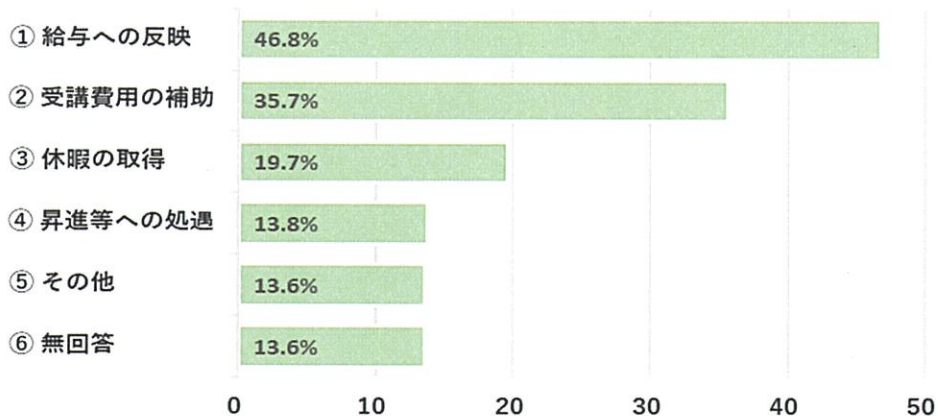
〈「その他」の主な内容〉

1	認知症ケア専門士。
2	福祉用具プランナー。
3	看護師資格。
4	公認心理師、主任介護支援専門員、住環境福祉コーディネーター。
5	終末期ケア専門士。
6	福祉用具専門相談員。
7	介護口腔ケア推進士・認知症介助士・高齢者傾聴スペシャリスト。
8	管理栄養士。
9	公認心理士。
10	防災士。

問6(5) 資格等取得に当たっての職場からの支援【複数回答あり】

* 資格等取得に当たっての職場からの支援は、「① 給与への反映」が46.8%と最も多く、次いで「② 受講費用の補助」が35.7%となっています。

(n=2,806)



〈「その他」の主な内容〉

1	勤務時間、シフトの配慮。
2	合格祝い金。
3	支援等無し。
4	受験費の補助(受講費ではない。受講はしても補助はなかった)。
5	勤務時間の調整。
6	学費の無利子貸付。
7	会社では、介護支援専門員として勤務していないが、お祝い金と更新時の費用は会社で負担してもらっている。
8	現職場からは更新研修の費用を負担して貰っている。
9	交通費、宿泊費を支給してくれたうえで研修に派遣。
10	合格祝い金。